

山形市長
佐藤孝弘 様

令和元年12月25日

令和2年度

予算編成にかかる政策提言

公明党山形市議団

折原政信

武田新世

松田孝男

山形市長
佐藤孝弘様

令和2年度 予算編成にかかる政策提言

貴職におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より公明党山形市議団の活動に対して、ご理解とご協力を賜り心より感謝を申し上げます。

さて、昭和39年11月17日、創価学会の池田大作会長（当時）の発意により結成された公明党は、本年で結党55年の大きな節目を迎えました。党創立者が示された『大衆とともに語り、大衆とともに戦い、大衆の中に死んでいく』という不変の立党精神を血肉化し、大衆の一員、代表として人間主役の政治を進め、政策の優先度が低かった福祉や教育、住宅、医療など国民生活の身近な課題を着実に前進させてきました。

この度の提言も、公明党山形市議団が市民の皆様から直接お伺いしている身近な課題の解決から、地球規模で推進する持続可能な開発目標「SDGs」の達成に向けて、山形市が具体的に目指すべき政策として纏めたものです。新年度の予算編成に際し、実現に向けた的確な対応を講じられますよう、ご理解とご配慮をお願い申し上げます。要望書を提出いたします。

令和元年12月25日
公明党山形市議団
会長 折原政信
幹事長 武田新世
会計 松田孝男

1 世界に誇る「健康医療先進都市」実現のために (12件)

- ① 地方団体が地域社会の維持・再生に向けた幅広い施策に自主的・主体的に取り組むため、令和二年度から新たに地方法人課税の偏在是正措置による財源を活用した総務省予算「地域社会再生事業費（仮称）」0.4兆円が計上されることから、提案する以下の政策実現のために活用すること。（新規）
- ② ^{ソ サ エ テ ィ ー}Society 5.0を見据え、アナリティクス（データの解析等を行い、環境、医療、農業等での問題解決等に役立つ情報提供や提案を行える）人材の登用や育成を行うこと。また、これらに特化した専門室を設置すること。（新規）
- ③ 情報提供の共通基盤（デジタル情報プラットフォーム）の構築と、その基盤に連携する市民向け情報アプリの提供を行うこと。（新規）
- ④ 人工内耳用音声信号装置と人工内耳用電池および充電器等への市独自の補助制度を実施すること。（新規）
- ⑤ 子宮頸がんワクチン接種においては、適切な情報の周知と定期接種の対象者への個別通知を行うこと。（新規）
- ⑥ 年度末で経過措置が終了する65歳の肺炎球菌ワクチン定期接種対象者の内、未接種者に対するの再度勧奨を個別通知すること。（新規）
- ⑦ 風疹の予防接種を公的に受ける機会がなかった男性に配布した無料の受診券の利用期限を3年間に延長し再通知を行うこと。（新規）

- ⑧ がん患者の負担軽減のために、重粒子線治療費利子補給制度を創設すること。(継続)
- ⑨ 市民の健康増進やがん予防対策推進のため、市医師会や国保以外の保険者、医療機関との協力体制を構築し情報連携を図ること。(継続)
- ⑩ 発達障がい児・者の総合相談所などの拠点として、発達障がい支援センターを設置すること。(継続)
- ⑪ 子どもに関するさまざまな相談に応じるため、児童相談所を設置すること。(継続)
- ⑫ 広域利用に資する施設（スケート場・観客席設置の体育館・武道館・陸上競技場・サッカースタジアム）については、山形県や関係機関と具体的な協議を進め、早期に計画を示すこと。(継続)

2 県都に相応しいトップクラスの子育て環境整備のために (11件)

- ① 貧困や不登校、高齢者や外国人など、様々な理由で学ぶ機会を失った人のために「夜間中学」を設置すること。また、山形市でのニーズ掘り起こしのため実態調査を行うこと。(新規)
- ② 幼保無償化等を推進するため、給食費（副食費）に対して助成を行うこと。(新規)
- ③ 3歳児健診において、弱視の早期発見に有効な携帯型視機能スクリーニング機器（スポットビジョンスクリーナー）を導入すること。(新規)

- ④ 学校及び適応指導教室「風」と民間で運営するフリースクール等との連携を図り、不登校やひきこもり者に対して適切な支援を行うこと（新規）
- ⑤ 子ども食堂や地域食堂の実態調査を行い、「こども宅食」の導入など実効性ある対策を検討すること。（継続拡充）
- ⑥ 子ども医療費助成制度の高校三年生までの拡充を目指し、入院費助成を先行導入すること。併せて、負担が大きい多子世帯や双子及び多胎児に対しての制度を拡充すること。（継続拡充）
- ⑦ 育児と介護の課題（ダブルケア）や、8050問題を抱える世帯に対して、課題抽出のための実態調査を行い支援対策への取り組みを開始すること。（継続拡充）
- ⑧ 気になる子供の早期発見のため「5歳児健診」を実施すること。また、保育園と認定こども園等において実施している健康診断に対しての相談体制を拡充すること。（継続拡充）
- ⑨ いじめを防ぎ、児童生徒の安全な学習環境の確保や教職員の相談体制を充実させるため、スクールロイヤーを導入すること。（継続）
- ⑩ 南沼原小学校新校舎改築までに、同校舎前の西バイパス交差点への歩道橋の整備を図ること。（継続）
- ⑪ 子供たちの悩みに耳を傾けるため「SNS（LINE・アプリ等）」を活用した「いじめ・自殺相談窓口」を開設すること。（継続）

3 活力ある産業のまちづくりのために (6件)

- ① 新産業団地の整備にあたり、大企業誘致のみならず中小零細企業や小規模事業者等に対してレンタル工場やオフィス等の提供を行うこと。
(新規)
- ② 歴史遺産である古文書等を、専門機関や大学、地域の方々と連携して、収集、調査、整理、保存すること。また、広く市民や観光客に公開するための拠点整備や機会を提供すること。(新規)
- ③ スマート農業の導入と連動した産地づくりをすすめること。また、農福連携や外国人材活用を推進し、持続可能な農業と労働力確保に努めること。(新規)
- ④ 有害鳥獣被害対策においては、コミュニティーセンターを窓口にし、市や農協等の関係機関と十分に連携を図ること。また、侵入防止柵(電気・メッシュ柵等)の設置については、有効な補助制度についての周知と説明を行い、設置等に関する手順の研修を行うこと。(新規)
- ⑤ 有害鳥獣を捕獲した際の助成金を引き上げるとともに、捕獲した有害鳥獣の処理等(ジビエ化・肥料化等)を効率的に行う仕組みや施設の検討をおこなうこと。(新規)
- ⑥ 歩いて回れる街づくりを目指した公共交通インフラ整備を図ること。
また、利便性向上のために、公共交通における運賃のICカード等による電子決済化や、くるりんバス定期券の導入を図ること(継続)

4 市民協働のまちづくりのために (3件)

- ① 市立図書館と南部公民館体育館等の駐車場不足解消のために、近隣遊休地（六中東側N T T 宿舎跡地）を活用し整備すること。（新規）
- ② 市立図書館への電子図書と読書通帳及び、障がい者・児等に対応するマルチメディア・デージー図書を導入すること。また、図書貸し出しカードの機能をマイナンバーカードに付加すること。（継続拡充）
- ③ 中央省庁から多様な人材を招聘し、人事交流を通して連携をより密にすること。また、中核市移行や東京事務所開設により中央省庁との連携強化が欠かせないため、副市長2人制を早期に導入すること。

（継続）

5 安全・安心のまちづくりのために (9件)

- ① 市避難所開設時における初動対応に必要な物資（一時避難時でも必要な物資の再考等）の確認と運営訓練を行うこと。（新規）
- ② 市避難所等に液体ミルクを備蓄すること。また、ローリングストックの手法を活用し平時も使用しながら必要数を確保すること。（新規）
- ③ 災害時にペットと同行する避難者に対する理解を市民に周知すること。また、避難所での受け入れ体制を整えること。（新規）
- ④ 高齢者の安全運転を手助けする装備などに対して助成を行うこと。また、市が所有する車両にドライブレコーダーを設置すること。（新規）

- ⑤ 子供達の安全のために、認定こども園や保育園等の周辺にキッズゾーンを設置すること。(新規)
- ⑥ 防災ラジオを、新たな浸水想定区域内世帯の希望者と、危険区域以外の希望者にも配布すること。(継続拡充)
- ⑦ 西回りバイパス西側の榎沢山辺中山線における南側への延伸を早期に推進すること。(継続)
- ⑧ 山商新校舎完成に向けて安全な通行を確保するため「都市計画道路十日町双葉町線」の早期整備促進を図ること。(継続)
- ⑨ 災害時に避難所となる小・中学校体育館の施設強化を図るため、エアコン及び窓ガラス飛散防止フィルムを整備すること。また、便器の洋式化や多目的トイレを整備すること。(継続)

以上
新規：22件
継続拡充：6件
継続：13件
合計：41件